

第7次富山県医療計画 中間評価・見直しの概要

中間評価・見直しの趣旨

- ・医療従事者の確保や、効率的で質の高い医療提供体制の構築、災害時の医療の確保体制の強化等の課題に的確に対応するとともに、より県民のニーズに即した良質かつ適切な保健・医療を提供できる体制整備を計画的に推進するため、平成30年度から令和5年度を計画期間とする、第7次「富山県医療計画」を策定
- ・国の指針も踏まえ、今年度、5疾病（がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患）、5事業（救急、災害、へき地、周産期、小児医療）及び在宅医療に係る数値目標の中間評価及び計画内容の中間見直しを行うもの

数値目標の現状

第7次計画に掲げる数値目標：109項目
・「達成（目標値を達成済）」が50項目
・「改善（基準値から改善している）」が17項目
・「維持・後退（基準値から変化がないか後退している）」が21項目
※上記のほか、統計の最新値が確認できないもの等が21項目

○：「達成」、「改善」 ●：「維持」、「後退」

中間評価・見直しの主な内容

— 5 疾病 —

① がん

数値目標の現状

- がん年齢調整死亡率（75才未満、人口10万対）：目標「低下」
68.3(計画策定時、以下同じ)→64.6(2019)【達成】
- がん年齢調整罹患患者数（人口10万対）：目標「低下」
391.3人→384.1人(2018)【達成】
- がん検診受診率：目標「50%」
胃がん：12.9%→18.9%(2019)【改善】
肺がん：33.8%→32.2%(2019)【後退】
大腸がん：26.6%→26.4%(2019)【後退】
乳がん：29.6%→28.7%(2019)【後退】
子宮がん：27.5%→27.1%(2019)【後退】

今後の取組事項

- ・禁煙対策・受動喫煙防止対策の一層の強化
- ・がん検診の受診を促進するための取組を推進
- ・拠点病院を中心とした集学的治療の充実
- ・小児・AYA世代のがん患者や家族に対する相談支援体制の充実

② 脳卒中

数値目標の現状

- 特定健康診査受診率：目標「70%」
54.5%→61.7%(2019)【改善】
- 脳梗塞患者に対するt-PAによる血栓溶解療法実施件数（人口10万対レセプト件数）：目標「全国平均(10.1件)以上」
7.5件→16.6件(2019)【達成】

今後の取組事項

- ・脳卒中危険因子を持つ者への早期介入・予防の推進
- ・脳卒中が疑われる場合の速やかな救急搬送要請に係る普及啓発
- ・血栓溶解療法の実施状況の検証と、実施件数の更なる増加
- ・回復期機能病床の更なる確保

③ 心血管疾患

数値目標の現状

- 急性心筋梗塞の年齢調整死亡率（人口10万対）：
目標「全国平均（男16.2、女6.1）以下」
男性19.5→14.0(2019)【達成】、女性5.4→4.7(2019)【達成】
- 在宅等生活の場に復帰した患者の割合：目標「100%」
92.7%→94.1%(2017)【改善】

今後の取組事項

- ・急性期病院において速やかに専門的治療（経皮的冠動脈インターベンション等）を開始できるよう、体制整備を推進
- ・大動脈解離や大動脈破裂の緊急手術の広域連携体制を構築
- ・人工心肺装置の適正かつ十分な配置
- ・慢性心不全患者が安心して在宅療養できるよう、地域医療、介護、救急医療及び緩和ケアの連携を推進

④ 糖尿病

数値目標の現状

- 新規人工透析導入患者数（人口10万対）：目標「減少」
29.0人→32.8人(2019)【後退】

新たな指標の追加

- ・I型糖尿病専門医療機関数(人口10万対)
現状：2.15機関 → 目標：維持
- ・新規下肢切断術の件数(人口10万対)
現状：7.4件 → 目標：減少

今後の取組事項

- ・糖尿病予防のための生活習慣に係る普及啓発の実施
- ・医師会や医療保険者、市町村等の連携のもと、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進

⑤ 精神疾患

数値目標の現状

- 精神病床における急性期(3か月未満)の入院患者数：目標「534人」
548人→403人(2020)【達成】
- 自殺死亡率（人口10万対）：目標「14.4人」
17.7人→19.0人(2020概数)【後退】

新たな指標の追加

- ・精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数
現状：292日 → 目標：316日以上

今後の取組事項

- ・アウトリーチ等により、安心して地域生活を継続できるよう支援
- ・「こころの電話」による24時間・365日対応や、ゲートキーパー養成研修の拡充など、相談支援体制の強化・充実

— 5 事業 —

① 救急医療

数値目標の現状

- 救急搬送者の軽症者割合：目標「低下」
44.2%→40.2%(2019)【達成】
- 心肺停止患者の1か月後の社会復帰率：目標「全国平均(7.8%)」
6.8%→13.6%(2019)【達成】

今後の取組事項

- ・休日夜間急患センターの運営支援の継続
- ・救急医療を担う人材を確保するため、修学資金の貸与や処遇改善を推進

② 災害医療

数値目標の現状

- 災害拠点病院の業務継続計画の策定率：目標「100%」
37.5%→100%(2021)【達成】

新たな指標の追加

- ・災害医療コーディネーター研修修了者数
現状：22名 → 目標：増加

今後の取組事項

- ・災害拠点病院の施設・設備整備への支援、実動訓練の実施促進等による、総合的な機能強化

③ へき地医療

数値目標の現状

- へき地医療拠点病院数：目標「増加」
6施設→8施設(2021)【達成】

新たな指標の追加

- ・へき地医療拠点病院のうち巡回診療・医師派遣・代診医派遣の年間実績が合算で12回以上の医療機関の割合
現状：87.5% → 目標：現状維持

今後の取組事項

- ・へき地における医師確保

— 在宅医療 —

数値目標の現状

- 在宅療養支援診療所数(人口10万対)：目標「増加」
5.6施設→6.2施設(2019)【達成】
- 訪問看護ステーションに従事する看護師数(人口10万対)：目標「増加」
23.2人→43.9人(2020)【達成】

今後の取組事項

- ・在宅医療を担う医師の確保、訪問看護ステーションの整備等への支援

— 新型コロナウイルス感染症への対応 —

「新興感染症等の感染拡大時における医療」については、次期（第8次）医療計画より記載事項として追加予定